

## 令和7（2025）年度 資源評価調査報告書（拡大種）

種名	マダコ	対象水域	太平洋北部（青森県～千葉県）
担当機関名	茨城県水産試験場、水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、岩手県水産技術センター、宮城県水産技術総合センター、福島県水産資源研究所、千葉県水産総合研究センター	協力機関名	

## 1. 調査の概要

青森県（佐井村以東）から千葉県（南房総市白浜町）にいたる各県が過去に遡ってまとめた月別または年別漁業種別漁獲量をもとに、本種の主要な漁業種別を抽出するとともに、県別や月別の漁獲量を求め、主産地や主漁期を調べた。また、各県の漁獲量集計値の変動から、現在の資源の水準および動向を判断した。

## 2. 漁業の概要

本種は50種類ほどの多様な漁法で漁獲されており、漁法を大別すると「その他」の分類が多くなる傾向にある。県別には、青森県では18年間で、定置網・底建網（年別漁法別漁獲量の平均漁獲割合で7.1%、年別漁法別漁獲量の最小～最大の漁獲割合で2.8～15.9%）（以下、（ ）書き内は同じ順で記載）、釣り・延縄（3.6%、0.3～20.7%）、沖合底びき網（0.9%、0～4.0%）などで漁獲されている。岩手県では31年間で、かご（78.1%、24.0～94.5%）、延縄（8.7%、0～59.3%）、定置網（6.1%、1.4～28.8%）などで漁獲されている。宮城県では25年間で、せん（28.6%、16.3～50.0%）、小型底びき網（5.7%、0.8～48.5%）、刺網（3.4%、0.7～11.8%）などで漁獲されている。福島県では56年間で、たこ籠（55.2%、0～100.0%）、小型底びき網（26.3%、0～89.1%）、沖合底引き網（14.2%、0～49.5%）などで漁獲されている。また、2011年の東日本大震災以降はたこ籠（90.1%、77.3～100.0%）が主体となっている。茨城県では35年間で、たこつぼ（69.0%、35.5～89.8%）、小型底びき網（20.4%、4.3～42.2%）、沖合底びき網（4.7%、1.0～21.4%）などで漁獲されている。千葉県では33年間で、たこつぼ（87.8%、66.2～95.8%）、沖合底びき網（5.1%、5～31.8%）、釣（3.4%、0～12.6%）などで漁獲されている（図1）。

県ごとの年間漁獲量は、青森県では18年間の平均で35.7トン（13.6～71.1トン）、岩手県では31年間の平均で186.7トン（2.0～952.2トン）、宮城県では25年間の平均で268.0トン（8.7～1,169.3トン）、福島県では56年間の平均で195.0トン（0～1,043.1トン）、茨城県では35年間の平均で148.7トン（21.8～465.3トン）、千葉県では33年間の平均で154.0トン（22.5～335.5トン）となっている（図2）。

岩手県から千葉県の月別累積漁獲量から漁期を推定すると、岩手県では、8月から漁獲量が増え始め、10月～翌年1月までが主漁期になっている。宮城県では、9月から漁獲量が

増え始め、10月～翌年1月までが主漁期になっている。福島県では、10月から漁獲量が増え始め、11～12月が主漁期になり、翌年1～6月にかけて減少しながらも漁獲が継続している。茨城県では、11月から漁獲量が増え始め、12月～翌年2月までが主漁期になっている。千葉県では、12月から漁獲量が増え始め、翌年1～3月が主漁期になっている（図3）。岩手県から千葉県の漁期のずれは、水口・出月（2016）の報告（後述）にある外房～南三陸に分布する南下移動群「渡り群」の移動に起因するものと示唆された。

### 3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：日本の太平洋側では宮城県以南に主に分布し、津軽海峡域が北限と考えられている（野呂 2017）。房総半島の太平洋側では、南三陸まで大回遊する群と周年地先に分布する群がある（田中 1958）。茨城県沖では、夏季の「地着きダコ」と秋季以降の「渡りダコ」の2群が報告されている（宇野ほか 1959、藤本・宇野 1959）。福島県沖では、茨城県以南で3～6月に生まれたのち、浮遊幼生期に仙台湾沖の漁場に稚ダコとして供給され、その後南下して10月～翌年1月に福島県沖で漁獲される群（南下ダコ）と、福島県沖で5～9月頃に産卵する群、5～8月に茨城県以南から北上来遊する群の存在が報告されている（秋元・佐藤 1980、野呂 2017）。水口・出月（2016）は、東日本における南下移動群を「渡り群」、一生を狭い海域で過ごす群を「地着き群」とし、三陸から九州にかけて全国に5つの渡り群と多くの地着き群が存在すること、外房～南三陸に分布する両群の特徴として、渡り群はサイズが大きく、産卵期が4～5月なのに対し、地着き群は小さく、産卵期は7～9月であることを報告している。
- (2) 年齢・成長：飼育環境下（水温 14.3～26.5℃）における孵化日数は22～57日であり、浮遊期間は伊予灘の秋季発生群において約2か月と推定されている（坂口 2006）。本種においては有効な個体標識方法がなく、寿命は1年または1年4か月と推定されている（野呂 2017）。
- (3) 成熟・産卵：本種の産卵期は、福島県で5～6月、茨城県～千葉県で3～6月と9～10月、千葉県小湊で5～6月と9～10月であり（海洋生物環境研究所 1991）、海域により産卵期が年1回と年2回で異なっている。なお、津軽海峡での成熟時期は、雌が6～9月、雄が周年で、産卵が確認されたのは8～9月であり、産卵時期は年1回であることが明らかにされている（野呂 2017）。
- (4) 被捕食関係：魚類、甲殻類、二枚貝などを摂餌する（松尾ほか 1997）。捕食者は海鳥、ウツボ、サメ、エイ類など。

### 4. 資源状態

上述のように青森県から千葉県の漁獲量データのある期間が異なることから、県別の年間漁獲量を用いて各県ごとの水準と動向を判断するとともに、全県の漁獲量データが揃う2007年からの年間漁獲量を用いて青森県から千葉県までの太平洋北部における本資源の水準と動向を判断した。

水準の判断は、漁獲量の平均値よりも30%以上多い場合を高位水準、30%以上少ない場

合を低位水準とした。

青森県では、高中位境界=46トン、平均値=36トン、中低位境界=25トンで、2024年の漁獲量は52トンで平均値の146%に相当することから、水準は高位と判断した。また、最近5年間（2020～2024年）の漁獲量は31～71トンで増減を繰り返しているものの、2020年をピークに減少傾向にあることから、動向は減少と判断した。

岩手県では、高中位境界=243トン、平均値=187トン、中低位境界=131トンで、2024年の漁獲量は952トンで平均値の510%に相当することから、水準は高位と判断した。また、最近5年間（2020～2024年）の漁獲量は200～952トンで増減を繰り返しているものの、増加傾向にあることから、動向は増加と判断した。

宮城県では、高中位境界=348トン、平均値=268トン、中低位境界=188トンで、2024年の漁獲量は741トンで平均値の274%に相当することから、水準は高位と判断した。また、最近5年間（2020～2024年）の漁獲量は277～858トンで増減を繰り返しているものの、増加傾向にあることから、動向は増加と判断した。

福島県では、高中位境界=283トン、平均値=218トン、中低位境界=153トンで、2024年の漁獲量は283トンで平均値の129.7%に相当することから、水準は中位と判断した。また、最近5年間（2020～2024年）の漁獲量は54～283トンで増減を繰り返しているものの、増加傾向にあることから、動向は増加と判断した。

茨城県では、高中位境界=193トン、平均値=149トン、中低位境界=104トンで、2024年の漁獲量は68トンで平均値の46%に相当することから、水準は低位と判断した。また、最近5年間（2020～2024年）の漁獲量は66～150トンで2020年をピークに減少していることから、動向は減少と判断した。

千葉県では、高中位境界=200トン、平均値=154トン、中低位境界=108トンで、2024年の漁獲量は75トンで平均値の49%に相当することから、水準は低位と判断した。また、最近5年間（2020～2024年）の漁獲量は23～302トンで2021年をピークに減少していることから、動向は減少と判断した。（図4）。

青森県から千葉県の対象水域では、高中位境界=1,339トン、平均値=1,030トン、中低位境界=721トンであった（図5、表1）。2024年の全海域の漁獲量は2,171トンで平均値の211%に相当することから、水準は高位と判断した。また、最近5年間（2020～2024年）の漁獲量は787～2,171トンで増減を繰り返しているが、2022年を除き水準が高位であることから、動向は横ばいと判断した。

以上のように、県別の漁獲量をもとにした県別の水準判断では、低位から高位まで水準が分かれている一方、青森県から千葉県までの対象水域全体では、高位水準になっている。また、外房～南三陸に分布する「渡り群」と「地着き群」が存在すること、さらには、青森県で漁獲される本種と外房～南三陸に分布する「渡り群」との関係が不明確であることなど、対象水域のマダコに関しては資源解析事例に乏しいのが実状である。

このため、県別の漁獲量を用いた水準判断は資源状況を適切に反映していない可能性もあり、今後、適切な資源量指標値の検討、生物学的特性の検討、および資源解析をもとにした検証などが必要となる。

## 5. その他

千葉県では、主要漁法であるたこつぼ漁業の許可方針で、海域ごとに操業隻数・期間が定められているほか、宮城県では、宮城県漁業調整規則で宮城県海面において4月1日～8月31日までの間、マダコの採捕を禁止している。

## 6. 引用文献

- 秋元義正・佐藤 照 (1980) マダコの生態—I 漁獲量の変動と移動. 福島水試研報, **6**, 11-19.
- 藤本 武・宇野守一 (1959) マダコ漁業資源に関する地域的基礎研究—II マダコ *Octopus (Octopus) vulgaris* LAMARCK の産卵期について (第1報). 茨城水試研報, 119-123.
- 海洋生物環境研究所 (1991) 沿岸至近域における海生生物の生態知見 魚類・イカタコ類編 イカ・タコ類 (24) マダコ. 財団法人海洋生物環境研究所, 東京, 561-594.
- 松尾健司・宮川昌志・神田 優・山岡耕作 (1997) 伊吹島岩礁性魚類の食性. 高知大学海洋生物教育研究センター研究報告, **17**, 41-61.
- 水口憲哉・出月浩夫 (2016) マダコの地着きと渡り. 東京水産振興会, 東京. pp.110
- 野呂恭成 (2017) 津軽海峡に分布するマダコの生態. 青森県産業技術センター水産部門研究報告, **10**, 8-26.
- 坂口秀雄 (2006) 伊予灘東部海域におけるマダコの資源生物学的研究. 愛媛水試研報, **12**, 25-94.
- 田中二良 (1958) 外房に於けるマダコ *Octopus (Octopus) vulgaris* LAMARCK 資源の性状について. 日水誌, **24**, 601-607.
- 宇野守一・藤本 武・武藤康博・木梨 清・木梨重雄 (1959) マダコ漁業資源に関する地域的基礎研究—I タコ漁業について (第1報). 茨城水試研報, 112-118.

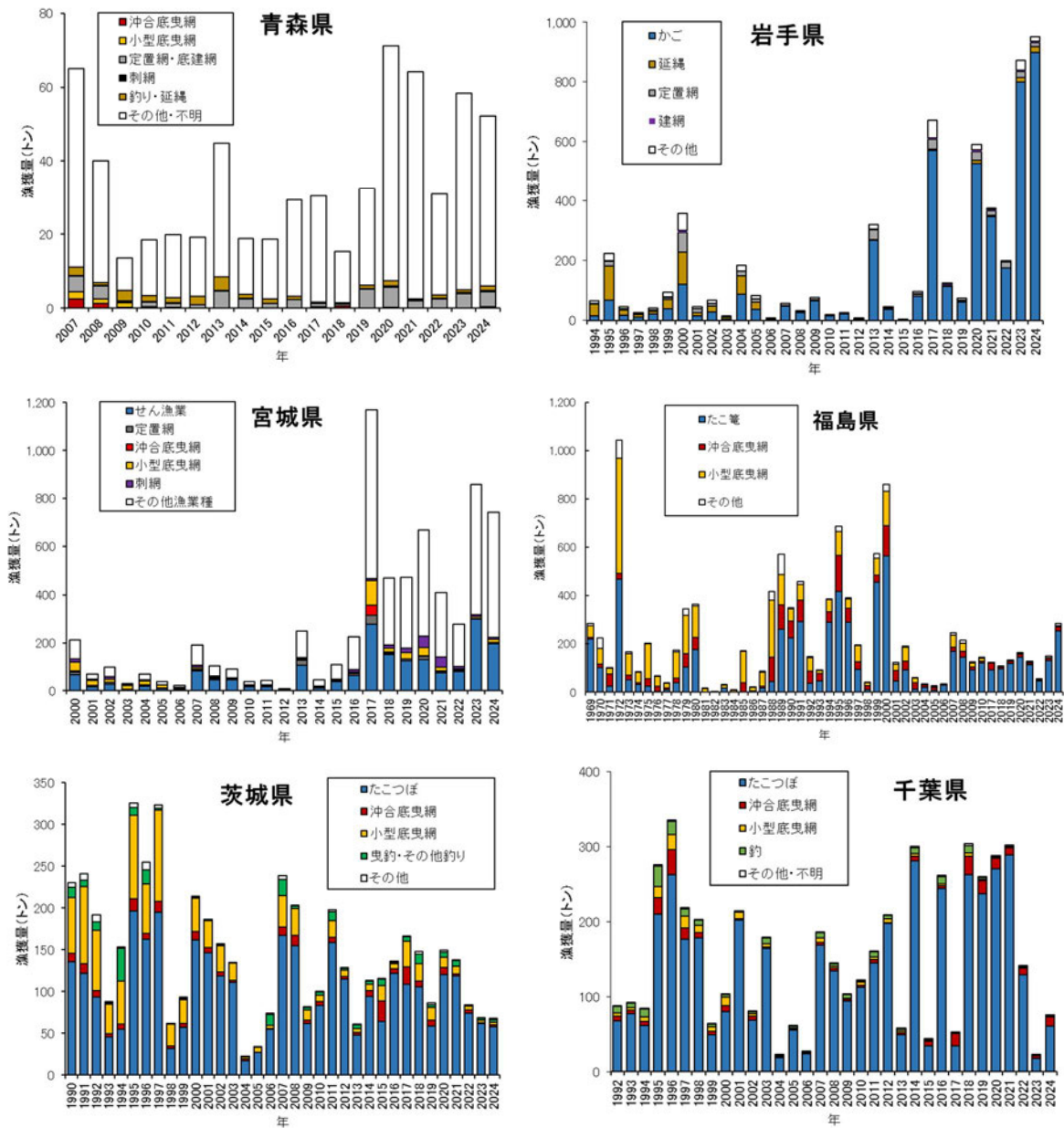


図1. 県別漁業種類別年間漁獲量

集計に用いた期間は県によって異なる（青森県：2007～2024年、岩手県：1994～2024年、宮城県：2000～2024年、福島県：1969～2024年、茨城県：1990～2024年、千葉県：1992～2024年）。

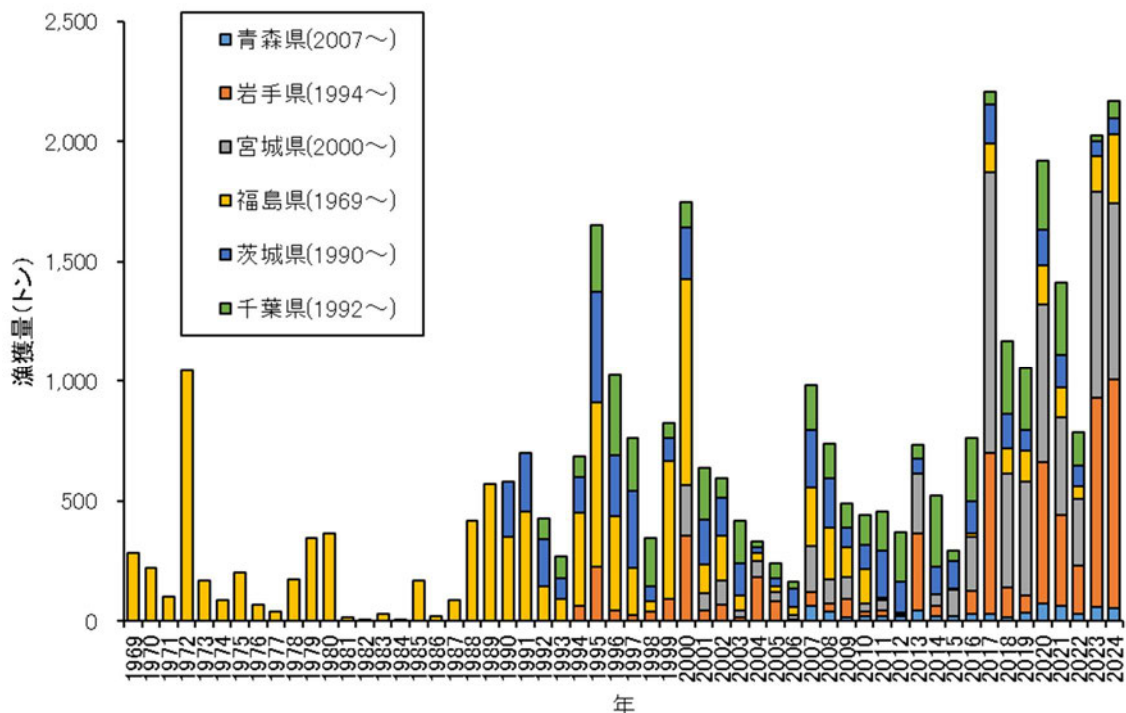


図2. 県別年間漁獲量

集計に用いた期間は県によって異なる（青森県：2007～2024年、岩手県：1994～2024年、宮城県：2000～2024年、福島県：1969～2024年、茨城県：1990～2024年、千葉県：1992～2024年）。

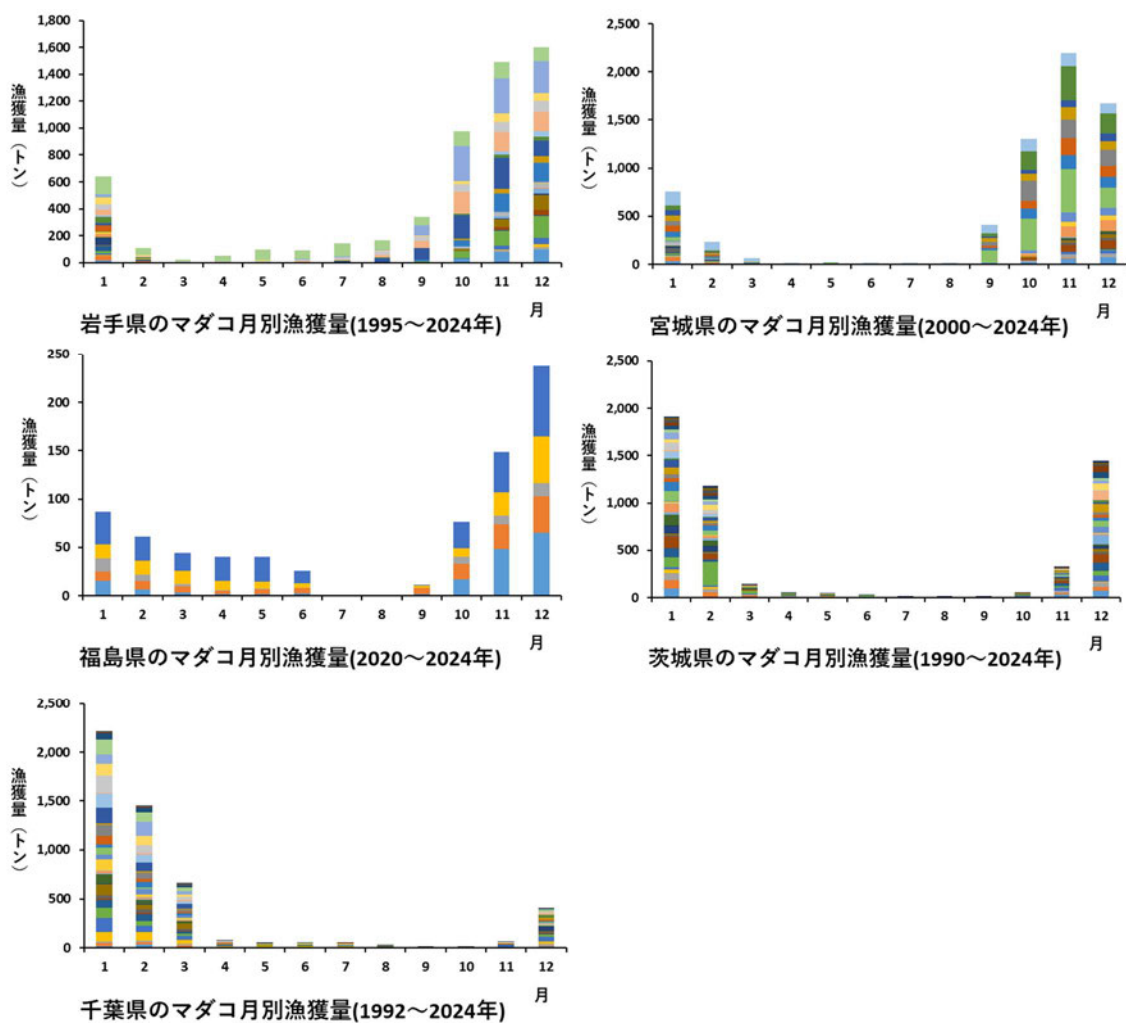


図3. 各県の月別累計漁獲量

集計に用いた期間は県によって異なる（青森県：月別データなし、岩手県：1995～2024年、宮城県：2000～2024年、福島県：2020～2024年、茨城県：1990～2024年、千葉県：1992～2024年）。

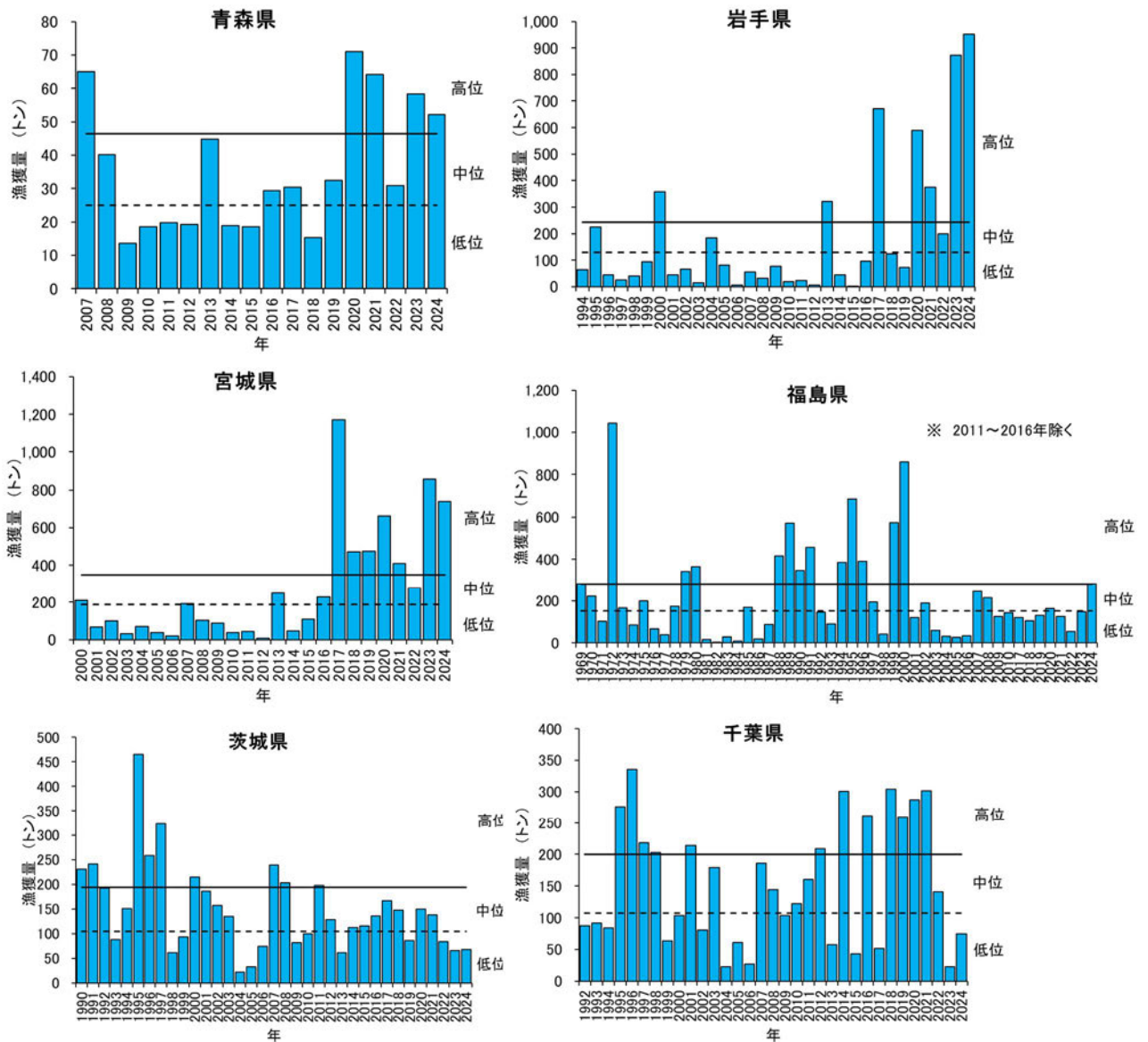


図4. 県別漁獲量と水準判別

集計に用いた期間は県によって異なる（青森県：2007～2024年、岩手県：1994～2024年、宮城県：2000～2024年、福島県：1969～2024年、茨城県：1990～2024年、千葉県：1992～2024年）。

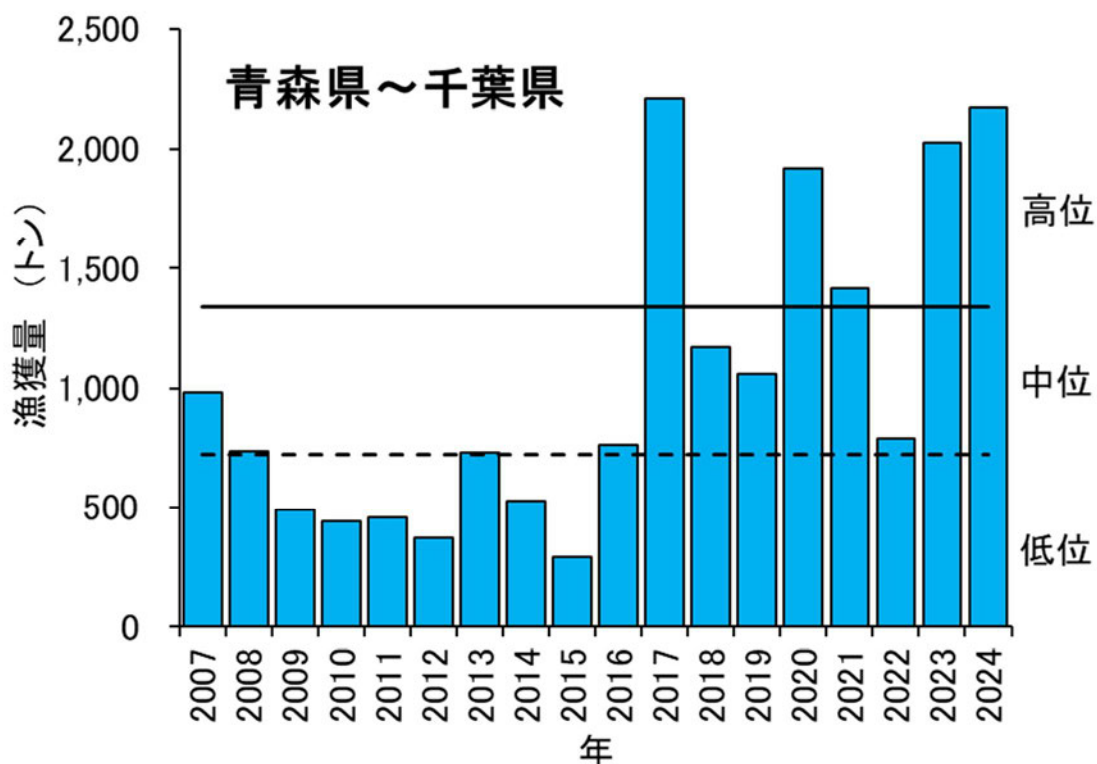


図 5. 太平洋北部における漁獲量と水準判別

表 1. 青森県から千葉県までの漁獲量の年変化 (2007～2024 年、単位：トン)

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
青森県	65	40	14	19	20	19	45	19	19	29	30	15	32	71	64	31	58	52
岩手県	56	32	77	18	24	6	321	45	2	96	671	125	73	590	376	200	872	952
宮城県	191	103	89	37	43	9	248	46	109	226	1,169	471	473	661	409	277	858	741
福島県	244	215	125	144	8	0	0	1	3	11	119	105	131	162	126	54	148	283
茨城県	239	203	81	100	198	129	61	113	115	136	166	148	86	150	138	84	66	68
千葉県	186	144	104	122	161	209	57	300	43	262	52	304	260	287	302	141	23	75
合計	981	737	490	440	455	372	732	524	291	761	2,209	1,169	1,056	1,922	1,415	787	2,025	2,171